

令和5年度第2回沼田市総合教育会議会議録

1 開催日

令和6年2月20日（火）

2 場所

テラス沼田 庁議室

3 出席者

沼田市長 星野 稔

沼田市教育委員会

教育長 竹之内 篤

委員 中村 春夫

委員 永井 和恵

委員 武藤 英子

委員 長谷川 清

事務局

北澤昇教育部長、角田紀男教育総務課長、林武史学校教育課長、小野利明生涯学習課長、原澤秀樹文化財保護課長、生方純也スポーツ振興課長、栗原満博教育総務課長補佐

4 開会 午前9時25分

5 市長挨拶

6 会議録署名人の指名

市長が永井和恵委員を指名

7 議事

議長：星野市長

議題

(1) 沼田市教育振興基本計画の策定について

○教育総務課長から説明

市長)

・委員の皆様から、ご意見をお願いしたい。

中村委員)

・基本計画は良くできていると思う。少子化が進み、統廃合の議論を進める時期に来ていると思った。

永井委員)

・社会情勢が複雑なので、基本理念に掲げた「たくましさ」は何よりも大事だと思う。

武藤委員)

- ・幼稚園児は難しいと思うが、小学校1・2年生のときに、経験豊かな先生から社会のルールや勉強方法などを指導してもらうことによって、沼田市の教育が目指す方向に近づくと思うし、経験豊富な先生が担任になってもらえば保護者も安心すると思う。

長谷川委員)

- ・少子化の中、いろいろ大変だと思うが頑張ってもらいたい。

市長)

- ・教育委員会事務局で基本計画をしっかりと推進してもらうので、委員の皆様には、お気付きの点があれば教育委員会事務局や教育長に意見等寄せてもらいたい。お示した沼田市教育振興基本計画をもって、これまでの教育施策の大綱に代えることにご異議ありませんでしょうか。

各委員)

- ・異議なし。

(2) 令和6年度実施予定事業について

○各課長から説明

中村委員)

- ・給食費無償化の決断について市長に感謝申し上げる。保護者の経済的な負担を減らすほか、給食費を徴収する教職員の負担減や、流入人口増加のきっかけとなるよう期待している。

少子化が進み、学校の統廃合は避けて通れない時期になったので、難しい面もあると思うが、過去の教訓やいろいろな意見を聴いて進めてもらいたい。保護者のほか、教職員の意見も参考にしながら、英断を下す時期が来っている。

沼田市は災害が少ない地域なので、企業誘致が成功すれば、今後生ずる公共施設の集約に投資できるのではないだろうか。

教育長)

- ・統廃合に関しては、新年度、教育機関の適正配置及び設置に関する審議会を設置して検討する予定である。今年度2回実施したアンケート結果も踏まえ、ある程度の方向性を示さなければならない1年となる。皆様の意見を聴きながら、10年20年先を見据え、市民の方々に対する提案や、一緒に考えるきっかけを作っていきたいと考えている。

長谷川委員)

- ・方向性が決まってから何年程度かかるのか。

教育長)

- ・はっきりとは言えないが、他市町村の経緯では4年から5年程度はかかっている。施設整備が必要かどうかによって変わる。

永井委員)

- ・玉原高原に注目していただいたことはうれしく思う。都会から水源としての森を育てる活動を続けている団体もある。玉原高原は大切な場所であり、地元としても子供たちに森林整備や森の大切さを教えてもらいたいと思っている。

学校教育課長)

- ・子供たちは、県の施策の「尾瀬学校」で、主に小学5年6年生が学んでいる。今回、その前の段階の4年生を対象に、地元の玉原の良さに注目するのも大切だと思い計画した。内容としては、ブナ林の散策が中心となるが、ブナの植林などの体験的な活動も検討している。

武藤委員)

- ・私も玉原に注目している。ブナは漢字で木に無しと書くが、決してそうではなく、保水性もあって大切な役割を果たしている。多くの皆さんが玉原の木や自然に触れて、森がきれいになれば水もきれいになって生活を豊かにしていることを学ぶよう、力を入れて取り組んでもらいたい。

長谷川委員)

- ・給食費無償化は各方面から反響が大きかった。先日の天達さんの講演でも、植林は20年後の地球温暖化を抑えるのに大切だと話していたので、素晴らしい取組だと思う。

市長)

- ・予算編成に当たり留意した点がある。その一つは、沼田市の課題だった少子化や人口流出等による生産力の減少である。親世代の方々から、子供たちが戻ってくる環境を整えてもらいたいと要望されていた。これには税収を上げないと踏み込んだ政策ができず、解決する手段として企業誘致に行き着いた。横塚工場適地は、県企業局が事業化を決定し、今後用地買収と造成工事を進めることになる。進出企業の決定と連動して、受皿の充実が求められ、衣食住のほか、医療や教育に関しても環境を整えなければならない。埋蔵文化財の発掘調査等で多額の費用を要するが、10年先の未来を見据えて予算編成したものであり、教育委員の皆様にもご留意いただきたい。

(3) その他

市長)

- ・市内で生活する外国人が約800人いる。現状、労働力を日本人だけで賄うのは困難であり、企業誘致が進めば外国人も増大する。外国の方々と普通に接する機会も増えるので、お含み置きいただきたい。今後も、お気付きの点は、事務局へ意見を寄せてもらえれば有り難い。

8 閉会 午前10時17分